

# 第 1 回 ちば U - 9 リーグ(8人制)

## 実 施 要 項

1、主 旨 千葉県優秀選手発掘とクリエイティブな選手育成を目指し  
長期的視野に立ち、リーグ戦文化の構築を目的とする。

2、名 称 ちば U - 9 リーグ

3、主 催 ちば U - 9 リーグ 連 盟

4、参加資格 千葉県3年生選手権大会ベスト4と各大会上位チーム  
(参加予定チーム)  
柏イーグルス、千葉イーグルス、カナリーニョFC、ウイングス千葉、  
藤崎SC、ラルクヴェール千葉、中志津SC、柏ラッセル、トリプレッタ松戸

5、試合期間 平成20年1月～3月(3ヶ月間内で4週)

5、試合形式 8人制 9チームによる総当りリーグ戦  
A戦(公式リーグ)戦、B戦(交流戦)を3チーム毎、3会場で実施する(4週で終了)  
1対2 A戦、B戦 1対3 A戦、B戦 2対3 A戦、B戦

### 6、競技規定

(1)競技のフィールド ピッチサイズ縦60m横40mを基本とする。  
ペナルティエリア縦:12m  
ペナルティマーク:8m  
ペナルティアークの半径:7m  
ゴールエリアの縦:4m  
センターサークル半径:7m  
ゴールの大きさ:5m×2m

(2)競技者の数 8人制  
自由交代とする(ベンチ前で退場してから交代選手が入場すること)

(3)審判 主審1人制とする(引率も含めて1人で対応可能)

(4)試合時間 試合時間は30分(前・後半各15分間ハーフタイム5分間)

(5)参加費 1クラブ1万円  
会計予算  
収入の部 参加費 9チーム×1万円=9万円  
支出の部 会場費 リーグ36試合×1000円=36000円  
予備費(賞品代他)54000円

大会目的 子供達の大会の理想を追求し変革をしていく組織を目指す  
クリエイティブな選手(パーフェクトスキルを獲得し局面で最も適したプレーを選択する能力[観て判断]、  
さらにそこに「ひらめき」とか「アイデア」といった「判断」を実行できる選手)を育成するために

項 目	変革内容	目 的
1、試合形式	長期リーグ戦	実力拮抗同士の試合を多く導入する
2、試合時間	8人制15分2本	全員がポジションに拘らず攻守し、緩急をつけた内容の試合展開が可能になるように
3、審判	小さな反則笛吹かず	世界と戦って、反則にあっても倒れない強い選手育成のために
4、指導者	指示は最小限	選手自身が自分で観て判断できる選手を育成するために
5、保護者	指示はしない	「行け・蹴れ・シュートしろ」は禁句、選手を焦らすような応援はしない
”	異議はしない	レフリーへの文句は絶対に言わない

、日本サッカー協会のビジョンを理解し千葉県サッカー協会技術委員会と密接な関係を築く

小さな反則 笛吹かず (日本サッカー協会 技術委員会、審判委員会)

少々の反則にあっても、倒れるな!

海外に比べて身体能力や体格が劣る日本は、これまでもわずかな接触プレーですぐに倒れる選手が目立っていた。

相手をふりほどいてプレーを続けようとする選手は少なく、主審に反則を訴えるシーンばかり。

国際試合では実際に、倒れて日本選手が反則を取ってもらえずに置き去りにされる場面も多い。

技術委員会を中心に「世界と戦っていくためには、反則にあっても倒れない強さが必要」

日本は反則があったかどうかの判定の正しさが重視され、反則された側に甘くなりがち。

そこで、程度の小さい反則を取らず、アドバンテージを見る時間や対象を広げ

試合中、選手に対してプレーを続けるように求める働きかけも強める。